



バリバリやります！埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！

石川ただよし

報告

2025年 通算第193号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コバヤシビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
<https://www.baribarist.com/>
(メールフォームあります)
f X Instagram YouTube
eXcite blog

プロフィール：昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会会派「無所属県民会議」幹事長。県議会福祉保健医療委員会委員。自然再生・循環社会対策特別委員会委員。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。

令和7年度一般会計予算 2兆2,308億9千万円

令和7年新年度が始まり
ました。
米国トランプ政権の政策
の影響が、国内・県内産業や
生活に出ています。
今後は、できるだけ影響
を最小限にとどめ、県民生
活を守る施策が急務だと認
識しています。
さて、今号では、埼玉県
の令和7年度予算を中心に久
喜市内県の事業の進捗など
をお伝えいたします。

令和7年度 主な新規事業

〇「埼玉県ふるさと 納税」を開始

埼玉県内市町村の
特産品を組み合わせ
て、埼玉県のPRを行
うためにふるさと納
税返礼品をつくりま
す。受け入れた寄付
金は、埼玉県内市町
村のために使用する
「ふるさと創造資金」
の原資にあてます。
県では、1年間で
7千万円の寄付を見
込んでいます。

〇県庁舎建て替え のための計画づくり を開始

現在、浦和駅徒歩
15分の所にある埼玉県庁
の老朽化対策(庁舎の最も
古い部分は築73年)と各地
域に分かれて設置されてい
る県行政機関の分散化対策

※裏面に市内の県事業を掲載しています。

として、移転も含めた県庁再整備
計画を2年間かけて策定します。
今後の社会のデジタル化の進
み具合や県庁業務、規模や将来の
あり方等を検討します。



「予算特別委員会」で質疑をする石川

〇熊谷駅近くに「北部地域 振興交流拠点」を整備

既に基本構想ができあがって
いた「北部地域振
興交流拠点」の整
備を進めます。
この施設は、埼
玉県の北部にある地域機関を集
約するとともに、新たに熊谷市役
所、県の産業振興施設、県立看護
学校、県立図書館、県立病院サテ
ライトなどを一か所に集約する
ものです。



令和7年度は、施設規模、性能、
事業費、管理手法、整備スケジュ
ールなどの基本計画を策定しま
す。

〇自然を守る市町村 企業などを支援



希少種の保護や自然などを戦
略的に保全する市町村に、県が補
助金を交付します。補助率は事業
費の半分以上、上限は1千万円で
す。既に21の市町村から希望が寄
せられています。

〇子供の初期救急患者 深夜受け入れを整備

これまでの「小
児二次輪番病院」
などに加えて、新
たに22時から翌
8時まで入院が不要な子供の軽
症者を受け入れる拠点医療機関
を県内2か所に整備します。
これまでは、「小児二次輪番病
院」が同時帯に、入院が不要な
軽症者と中等症以上の患者を受
け入れていましたが、今後は「小
児二次輪番病院」の負担を軽くし
効率的な医療体制となることが
期待されています。



〇小学生の朝のお預かり モデル事業を開始

保護者など大人が通勤で自宅
を出た後に残った小学校低学年
が登校することに対応するため、
モデル事業として「朝のこども
居場所づくり」事業を始めます。
志木市内の小中学校で本来の登
校時間前に、見守り員を配置して
始業まで小学校低学年をお預か
ります。



保育所へ子供を預ける時間よ
りも小学生の登校時間が遅く、こ
の為に保護者が退職、転職などす
る必要性に迫られることが社会
問題になっています。

〇75歳以上の重症救急患者の 救急医療体制を強化

埼玉県の救急搬送の
約7割は75歳以上の人
が占めています。特に搬
送が難しかった75歳以
上の重症救急患者を積
極的に受け入れる医療機関には、
埼玉県が補助をします。



〇米の高温障害対策を強化

近年、夏場の高温化により米の
安定生産に影響を与
えています。このこ
とから、県は高温化
に強い米品種である
「えみほころ」の育成を行ってき
ました。令和7年
度は、この栽培マ
ニュアルと少ない
手間での肥料が施せ
る体系をつくり、
種子の増産が可能
な施設整備を支援
します。



〇特別支援学校 整備を推進

深刻化している
知的障がいの方の
教室不足に対応す
るため、「県立八潮
高校」「ふじみ野市
立東台小学校」の
跡地を利用して、
それぞれに小中高
校部合わせて25
0名、150名前
後を受け入れる特
別支援学校を設置
する基本設計を始
めます。

「石川ただよし 県政報告会」のご案内

令和7年度の埼玉県の事業、久喜市に関する埼玉県の事業などを中心に石川がご報告い
たします。参加希望の方は、お気軽に下記まで「お名前、ご住所、ご連絡先」などをご連
絡の上、お申し込み下さい。(席に限りがございます。)

開催日時： 令和7年 5月31日 (土) 午前10時から

(受付開始：午前9時30分から)

会 場：久喜総合文化会館小ホール (久喜市下早見140)

～お申し込み・お問い合わせは、下記の「石川事務所」まで

電話かFAXまたは郵送でお願いいたします～

電 話：0480-53-5107 F A X：0480-53-5702

(番号非通知は受信できません)

住 所：〒346-0003 久喜市久喜中央 2-4-30 コバヤシビルB201



「予算特別委員会」で質疑をする石川

また、既に定員を超える子供を
預かり、教室、他施設が不足して

いる「県立和光南特別支援学校」の全面改築を行うための基本設計を始めます。校舎が供用される令和12年4月には、160名程の増員が可能です。同校には昨年度所属会派「無所属県民会議」で現場確認のための視察を行い、県教育委員会に問題提起と状況の改善要望を行っていました。

○ 県警の警察官を増員

サイバー空間犯罪や特殊詐欺にみられるような匿名・流動型犯罪グループへの対応として、埼玉県警察官の定数を175人増員し11,699人としました。久喜署、幸手署には1人ずつの増員です。(他は県警本部、各警察署など)

○ 県・市町村のインフラなどのサイバー空間からの攻撃を防止

県・市町村の公共施設、鉄道などの公共交通、電力会社、銀行など社会的な重要インフラへのサイバー攻撃を未然に防ぐため、サイバーセキュリティ対策の強化と事件捜査を進めます。



○ 新県立図書館の計画を策定

現在の県立久喜図書館、県立熊谷図書館を廃止・統合して、熊谷市内に設置予定の「北部地域振興交流拠点」に、「新県立図書館」を設置します。この新たな図書館にあるべき機能、サービス、施設内容、規模などを検討し計画を策定します。



令和7年度 久喜市内の埼玉県事業 (道路などの生活基盤に係る事業)

皆様から寄せられた要望をもとに予算化されたものをはじめ、令和7年度の主な市内県事業です。

野久喜地区 「県道幸手久喜線」 歩道設置工事を開始

県立久喜工業高校協の市道久喜11号線と同県道との交差点を中心に昨年度に引き続き用地買収などを進めます。

令和7年度はいよいよ歩道設置を予定している376mの内、110mの歩道設置工事をを行う予定です。場所は、トヨタ系自動車販売店前になります。

この場所への歩道設置については、私が所属する会派「無所属県民会議」を通じて令和2年度から毎年、知事に要望書を提出していたものです。



菖蒲町下栢間地区 「県道行田蓮田線」バイパス化のための事業推進

蓮田市が蓮田市高虫地内で計画している産業団地内を通り、川越栗橋線まで抜けるバイパス道路を整備しています。

令和7年度は、下栢間の元荒川に新たに架ける橋と道路の詳細設計が終わり次第、用地測量を始める予定です。

また、バイパスの整備に合わせて現在の「県道行田蓮田線」の一部を市道として久喜市に移管するので、道路の修繕と元荒川に架かる「大御堂橋」の補修設計を行います。

県では、令和5年度から概ね9年後を目途に事業を完了し供用する予定です。



菖蒲町新堀地区 「県道北根菖蒲線」 側溝設置工事を実施

「県道北根菖蒲線」の拡幅整備は継続して要望しています。新堀地区で歩道がない1,185mは、将来的に12m幅に拡幅整備を行う予定です。現在の用地買収率は33%です。

令和7年度はいよいよ用地買収が済んだ4箇所に側溝を入れる工事を始めます。



久喜東4丁目・5丁目 「県道春日部久喜線」 振動対策工事を実施

昨年から要望を頂いていた「県道春日部久喜線」の振動対策として、鉄道との立体交差から久喜東4丁目交差点までの上下線450mについて、道路の継ぎ目や段差を解消するための工事を行います。



樋ノ口地区 「県道春日部菖蒲線」整備

令和5年度は「県道上尾久喜線」に架かる「正楽寺橋」のう回路を設置、同6年度は、「正楽寺橋」の撤去とボックスカルバートへの入れ替え工事を実施しました。同7年度は、「正楽寺橋」のう回路の撤去と「県道春日部菖蒲線」に架かる「弁天橋」のう回路の設置、「弁天橋」の撤去とボックスカルバートへの入れ替え工事を実施します。



菖蒲町小林地区 「小林交差点」 整備工事を推進

「小林交差点」の整備は、平成28年2月県議会一般質問で取り上げて以来、継続的に早期実現を要望しています。令和6年度も歩道設置工事などを進めました。現在の用地買収率は90%になりました。

令和7年度は、県道川越栗橋線の上下線、県道笠原菖蒲線に右折帯整備を進める予定です。交差点を形成する久喜市道(小林調節池側)は車線の拡幅等を行います。



江面地区 「県道さいたま栗橋線」 歩道未舗装区間の舗装を実施

自動車販売の「カーニバル久喜インター店」北側から「江面歩道橋」までの「県道さいたま栗橋線」下り線歩道について、全てを舗装して防草工事を行います。夏など草が生い茂り、通行に支障を来すことがありました。



鷺宮地区「県道加須幸手線」延伸工事を推進

「県道加須幸手線」の鷺宮地区、延伸整備について、現在の用地買収率は94%になり道路予定地がまとまって確保できた区間から工事を進めています。令和7年度も引き続き、用地買収を進めます。また、昨年的一般質問で取り上げた市道との交差点については、継続して市や警察と協議を行っています。



ご報告

「予算特別委員会」で発言を求める石川



河川敷内樹木、河川内に残された残置杭を撤去

地元からご要望を頂き、昨年9月定例会一般質問で取り上げた「青毛堀川」樹木などの撤去工事が行われました。

区間は、喜橋から東武線区間になります。河川敷内に樹木が繁茂していたことで、増水期に水の流れを阻害していました。今後はこの上流についても調査し、必要に応じて伐採を進めます。

また、残置杭については、東大境橋、稲荷橋付近、JR付近の撤去をしています。東武線のコンクリート土台については、東武鉄道と調整しています。



バリバリやります！埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！

石川ただよし

報告

2025年 通算第194号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コバヤシビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
<https://www.baribarist.com/>
(メールフォームあります)
f X Instagram YouTube exite blog

プロフィール：昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会会派「無所属県民会議」幹事長。県議会福祉保健医療委員会委員。自然再生・循環社会対策特別委員会委員。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。

一般会計補正予算 (第1号・2号合計) 93億472万2千円

○ **高校生の授業料などを補助**
国の高校無償化の先行措置として、高校授業料補助の所得制限がなくなり、年収約910万円以上の世帯にも補助を支給します。



※裏面に市内の県事業を掲載しています。

○ **八潮市内の下水道管破損・道路陥没事故への対応**
今年1月に発生した八潮市内の下水道管破損・道路陥没事故の復旧工事の工事費や対応する職員を増員するため、流域下水道事業会計予算に41億1,387万円を増額します。

**補正予算
主な内容**
埼玉県

暑い日が続いています
が、いかがお過ごしでしょうか。
昨年、埼玉県内で熱中症の疑いで救急搬送された方は5千546人。今年も多くのの方が、同様に搬送されています。
まだしばらく暑さが続くようですが、熱中症予防を心掛けお元気にお過ごしください。
今号は6月12日から7月2日まで開催した、6月定例会を中心に報告いたします。

○ **分娩施設の整備を支援**
分娩を取り扱う施設整備を行った医療機関に、建築資材高騰分の2分の1の給付金を支給します。対象は県内1つの医療機関です。
また、分娩の取り扱いが減っている64の施設にも給付金を支給します。



○ **警察官へのスカートを支給を廃止**
警察法施行令の一部改正があり、これまで希望する警察官にスカートを支給していましたが、今後は支給がなくなります。
また、気候変動などを背景に、夏服上衣の支給数を増やし、ネクタイを減らすなどします。県警では、ポロシャツ型の夏服も試行しています。



○ **農業支援者を支援**
営農者を支える農業支援サービスを行う事業者が、スマート農業機械の導入や専門人材の育成にかかる経費を支援します。



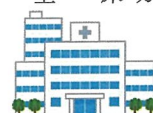
委員会では質疑をする石川



委員会では発言を求める石川

○ **小児医療施設を支援**
県内2つの入院患者が減少している小児医療機関に、小児科病床の経費相当分として1病床あたり25万円を支援します。
県内2つの医療機関に総額約4,800万円です。この事業の原資は全額が国庫です。

○ **経営状況の急変対策として医療機関を支援**
患者数の減少で経営状況が急変した医療機関に、令和7年9月末までに病床削減などを行った場合、削減した病床数に応じた給付金を支給します。1病床あたり410万4千円で100病床を見込んでいます。
この事業の原資は全額が国庫です。



○ **福祉施設のLPガス料金を補助**
LPガス料金高騰への対策として、高齢者施設、障がい者施設、保育所等、児童養護施設等、放課後児童クラブに補助をします。この事業の原資は全額が国庫です。
※都市ガスの料金高騰分への支援は国が直接行います。



○ **加熱式たばこの県たばこ税、課税方式を見直し**
地方税法が改正されたので、県たばこ税の課税方式も変わります。加熱式たばこは、これまで重さと小売価格に対して、課税標準を計算していましたが、来年4月1日からは重さのみで算出することになりました。

**可決した
その他の議案**
埼玉県

○ **LPガスの料金を補助**
LPガス料金高騰への対策として、消費者の負担を減らすためにLPガス販売事業者を通して、価格高騰分の一部を補助します。1世帯あたりの上限は1,500円です。
※都市ガスの料金高騰分への支援は国が直接行います。

県政報告会へのご参加ありがとうございました

5月末に開催した県政報告会へのご参加、ありがとうございました。当日は、スライドなどを用いて県の新年度事業や久喜市内の県事業をできるだけ分かりやすく説明しました。



○ **加須げんきプラザなど廃止**
埼玉県には、宿泊型青少年体験施設として「げんきプラザ」が6か所ありました。
県と有識者会議が利用状況他などを検討した結果、宿泊利用が少なく、さらに利用者全体の減少が続く、スポーツのみの利用が相対的に多い「加須げんきプラザ」と「神川げんきプラザ」が2025年度末をもって廃止することが決まりました。

令和7年度 久喜市内の埼玉県事業(道路などの生活基盤に係る事業)の進み具合

○ 未払い時間外勤務手当について和解が成立

中学校事務職員として勤務していた方から、令和2年5月から令和5年4月分まで、時間外勤務手当が支給されていないとして、埼玉県が訴えられていました。

この度、和解が成立し県が相手方に未払いの時間外勤務手当290万円を支払うことになりました。

西大輪地区「西大輪歩道橋」防犯対策を前倒しして実施すること

同歩道橋は、通学路にも関わらず階段踊り場や一部に透視性がない高い壁がありました。そのため、外側から内側(通行部)が確認できず、不審者などの防犯対策上の課題を解決すべく地元から早期改善のご要望を頂いていました。

交渉の末、従来の計画を見直しして特に子供の安全確保の必要性から、計画を1年前倒しして今年度中に設計などを開始することになりました。

また、設計の状況を見て、その後に工事を開始する予定になりました。



外から内側が見えない歩道内の高い壁

菖蒲町新堀地区「県道北根菖蒲線」側溝設置工事を順次、実施中

「県道北根菖蒲線」の新堀地区で歩道がない1,185mは、将来的に12m幅に拡幅整備を行う予定です。

毎年、県に会派を通じて早期完成を求めています。今年度、初めて用地買収が済んだ4か所に側溝を入れる工事が始まりました。

側溝と現道の間の空き地の間には、赤・白のバリケードを設け、年2回の除草作業を行う予定です。



側溝設置の工事が進む用地買収した部分



早期の工事施工が待たれる、中央線が摩耗した側道



「東北自動車道 江面地区」の安全対策を進めます
「東北自動車道」の久喜インターチェンジ付近、下り線の中央線が摩耗などで消えていました。
ここは、大きくカーブをしていて見通しが悪い上に、自動車の速度が出やすい場所として地元から改善の要望を頂いていました。
今後、秋までのできるだけ早い時期に道路表示などの対策を行います。

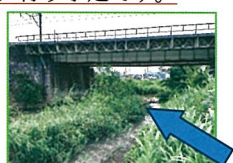
野久喜地区・古久喜地区「青毛堀川」の河川内に残されていた残り1つの「橋脚土台」の撤去を進めます

野久喜・古久喜地区内の青毛堀川には、数十年前の橋の架け替え工事などで4か所、河川内に旧橋の橋脚土台部分が残されたままになっていました。

この橋脚土台は、河川内の水の流れを阻害し、上流から流れてきたゴミや土も堆積、雑草が繁茂する箇所もあり、大雨時の危険性が指摘され、地元から早期の橋脚土台撤去の要望を頂いていました。

令和6年9月定例会の一般質問でこの問題を取り上げた結果、県では順次、橋脚土台の撤去を行い3か所の撤去は済みましたが、前回の「石川ただよし報告」でご報告していた通り、残り1か所は鉄道橋の下であることから慎重に工事方法などの調査・検討を進めていました。

この度、調査と検討を終え、この残り1か所の撤去も鉄道橋に影響なく実施できることが分かり、工事の準備を進めることになりました。工事は秋以降の年内に行う予定です。

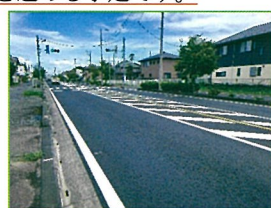


残された橋脚土台、この周辺にゴミや土が堆積しています

久喜東4丁目・5丁目地区「県道春日部久喜線」の振動対策工事を実施

昨年から要望を頂いていた「県道春日部久喜線」の振動対策として、鉄道との立体交差点から久喜東4丁目交差点までの上下線450mについて、道路の継ぎ目や段差を解消するための工事を行いました。

今後、さらに宮代町側の振動対策を進める予定です。



振動対策工事後の「県道春日部久喜線」

福祉保健医療委員会

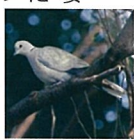
所屬委員会での発言など(抜粋)



・福祉施設や医療施設の燃料高騰対策としてのLPGガスの補助について質疑しました。

石川ただよし

・県の鳥であり、絶滅寸前の「シラコバト」が減少傾向にあり、保全の必要性をこれまででも取り上げてきました。
改めて、同委員会でご指摘したところ、調査の結果も出たことから今年度中に



シラコバト (県HPより)

自然再生・循環社会対策特別委員会



・県内歯科診療所の電子処方箋の導入状況に地域差があることを指摘しました。
指摘を受け、今後、県は地域差の解消を念頭に、埼玉県全体の歯科診療所への電子処方箋の導入を進めていくとのことです。



委員会で答弁を記録する石川

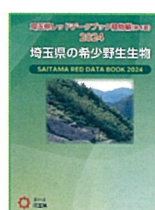
施設の種類によって補助金の補助単位の決定に合理的な理由がなく、定員を超えて子供を預かっている保育所の補助率が相対的に低くなることを指摘しました。
今後、同様の補助を行う場合は、補助単位の検討することとした。

に「シラコバト保全計画」を作り直すとのことです。

・県内で希少な植物を調査・報告するリスト「埼玉県レッドデータブック(植物編)」が昨年、13年ぶりに改訂されました。

しかしながら、同データブックが希少種の保全に役立てられていないことを指摘しました。

今後、県は市町村と情報共有をして、同データブックを活用し積極的に希少種の保全・復元などを進めることとなりました。



改訂した同レッドデータブック

お声がけありがとうございました
頂いたご意見などは
県民目線の活動にいかしてまいります



地域の課題や県政全般について、ご要望に応じて出前報告会・説明会などを行っています。お気軽に石川事務所までお問合せ下さい。



バリバリやります！埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！

石川ただよし

報告

2026年 通算第195号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コバヤシビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
https://www.bariibarist.com/
(メールフォームあります)
f X Instagram YouTube exsite blog

プロフィール：昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会会派「無所属県民会議」幹事長。県議会福祉保健医療委員会委員。自然再生・循環社会対策特別委員会委員。無所属議員の会埼玉代表。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。

令和6年度決算 決算特別委員会の審査から



決算特別委員会で質疑をする石川

皆様いかがお過ごしでしょうか。令和8年も県民目線の県政実現のため、バリバリ活動を続けます。

さて、令和7年秋には、令和6年度決算特別委員会が開催されました。

また、令和7年12月1日から19日までの会期で定例会が開催されました。

今号では、これらを中心に「報告いたします」。

委員は18名で構成され、私も会派を代表して委員になりました。

今回は令和7年10月24日から11月7日まで、部局別に審査を行いました。

埼玉県議会決算特別委員会は、地方自治法・県議会委員会条例に基づいて設置されます。

毎年度設置され、毎年度同様のことを審査対象にする委員会を「特別委員会」にすることには異論がありますが、県議会では私の所属会派を除く多数の会派が「特別」にこだわり「特別委員会」として設置されています。

「久喜市高柳地区産業団地」の計画延長 速やかに完成・分譲を



久喜高柳地区産業団地平面図

計画していた事業終了予定、令和7年度内に不可能になり、1年間延長して令和9年3月末の事業終了になりました。

これらの影響で、当初計画していた事業終了予定、令和7年度内に不可能になり、1年間延長して令和9年3月末の事業終了になりました。

撤去費用の支払いを約束したこと、産業廃棄物撤去工事などが始まることになりました。

そこで、県と市の役割分担に应运じ、久喜市が関係機関と交渉等を行うとともに、久喜市が企業会計に産業廃棄物撤去費用の支払いを約束したこと、産業廃棄物撤去工事などが始まることになりました。

令和8年度には分譲が始まる予定でした。

しかしながら、造成工事中に産業団地予定地の地中から大量の産業廃棄物が発見されたため、この産業廃棄物を撤去しない限り、産業団地の分譲を進めることができなくなりました。

現在、埼玉県企業局は久喜市高柳地区(旧栗橋町)に分譲面積15.8haの「久喜市高柳地区産業団地」を造成しています。

計画では、令和7年度(令和8年3月末までの造成で、令和8年度には分譲が始まる予定でした。

決算審査で久喜市に関わる議論

久喜市の下水道負担金 他地区との格差解消を



決算特別委員会で発言を求める石川

久喜市と加須市の一部のみの下水道を処理していることから、下水道処理のスケールメリット

は、久喜市と加須市の一部のみの下水道を処理していることから、下水道処理のスケールメリット

この「古利根川流域」に属し、久喜市吉羽の県施設で下水道処理を行い、処理に要する費用は、久喜市が維持管理負担金として県下水道会計に負担しています。

久喜市の下水道は「古利根川流域」に属し、久喜市吉羽の県施設で下水道処理を行い、処理に要する費用は、久喜市が維持管理負担金として県下水道会計に負担しています。

自治体は、下水道処理のための維持管理負担金を定められた計算方法に基づいて、県下水道会計に納めています。

久喜市の下水道は「古利根川流域」に属し、久喜市吉羽の県施設で下水道処理を行い、処理に要する費用は、久喜市が維持管理負担金として県下水道会計に負担しています。

県は、埼玉県内の下水道処理は、荒川や中川など河川の流域ごとに8つの「流域」に分けて処理しています。

各「流域」を構成する自治体は、下水道処理のための維持管理負担金を定められた計算方法に基づいて、県下水道会計に納めています。

久喜市の下水道は「古利根川流域」に属し、久喜市吉羽の県施設で下水道処理を行い、処理に要する費用は、久喜市が維持管理負担金として県下水道会計に負担しています。

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

踏切の遮断機開閉タイミングの改善を

11年も開催していない「畜産協議会」の開催を

畜産協議会の開催を

畜産協議会の開催を

畜産協議会の開催を

畜産協議会の開催を

畜産協議会の開催を

畜産協議会の開催を

畜産協議会の開催を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

中途半端な食品ロス削減事業の改善を

しかしながら、県はここ数年、同協力店を増やす努力をせずにいたため、同協力店数は令和5年度の539店舗から令和6年度は、わずか3店舗増加しただけだったことが判明しました。

また、県主催のイベントなどで飲食を提供する場合、以前は出店者に対して県が食品ロス削減への協力を求めていましたが、令和6年度から理由なくこれを怠っていたことも判明しました。

これらの議論から、今後は「彩の国エコぐるめ協力店」の登録店舗の増加に努力し、県関係のイベントなどでの飲食の提供などでも「小盛メニュー」導入など食品ロス対策の推奨を行うことを決算特別委員会の意見として県に求めました。

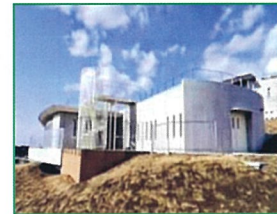


県が認証した店などに貼るステッカー

「加須サイクリングセンター」の開館 日削減、利用者激減の対策検討を

県が加須市内に整備・運営しているサイクリングのための施設である「加須サイクリングセンター」が、利用者が激減し土日祝日のみ開館、月曜日から金曜日と年末年始に休館していることを指摘。

県は、加須市と今後も有効利用や利用者増になるよう、協議を進めるとともに自転車道の整備、所管する県他部署とも情報共有すると答えました。



加須サイクリングセンター (県 HP から)



「花と緑の振興センター」 広く県民に利用されるように



川口市内にある「花と緑の振興センター」は、川口市や周辺市からの利用者がほとんどだったことが、質疑で明らかになりました。県立施設であることから、広く川口市とその周辺市以外の埼玉県民にも利用が広がるよう求め、県は今後、広報や事業を通じて県内全域から利用される施設となるよう改善を進めると答えました。



決算特別委員会で発言する石川

12月定例会から

補正予算

補正予算第4号から6号が提案され、総額約835億が追加されました。

〇 入札手続きを前倒し、施工時期の平準化のために

さいたま市の「別所沼会館」の解体工事、「浦和合同庁舎」など20施設の改修・修繕、「川越高等技術専門学校」などのエコオフィス改修事業などを前倒しで発注し、来年度の施工時期を平準化させます。

年度始めの施工が少なく、年度後半に施工が集中するのを防ぐ目的です。限度額を22億5,418万1千円としました。

〇 土地改良区を支援

農業水利施設の電力料、用水管理費が高騰しているため、16の県内土地改良区の支援を行います。

このうち、久喜市内の土地改良区は4団体です。



〇 人事委員会勧告にもとづいて職員給与を値上げ

民間給与との格差是正のため、人事委員会勧告に基づいて職員・学校職員の期末・勤勉手当の年間支給額を0.05か月分引き上げます。

また、知事を除く特別職においても期末手当の年間支給額を0.05か月分引き上げます。

可決した
その他の議案



〇 「県カスタマーハラスメント防止条例」を制定

カスタマーハラスメントから法律で定められていない個人事業主やボランティアなども幅広く保護し、安心して働ける職場環境とするために、条例を制定しました。



今後、県はカスタマーハラスメント防止の啓発などの事業を行い、事業者はカスタマーハラスメント防止基本方針などの作成に努めることとなります。

また、客側には就業者に対する言動に注意する努力義務が生じます。令和8年7月1日から施行します。

〇 産業振興のために

新しい機器を導入

県内企業の製品開発や技術力を支えるための「埼玉県産業技術総合センター」（川口市・熊谷市）に、企業からの需要に応え「レーザー加工機」「真円度測定機」「エミシオン測定システム」「冷熱衝撃試験機」「高速試験切断機」など新しい機器を導入します。

また、これらの機器の使用料も定められました。



久喜市内の埼玉県事業（道路などの生活基盤に係る事業）の進み具合

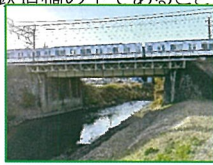
「青毛堀川」の河川内に残されていた橋脚土台を撤去

野久喜・古久喜地区内の青毛堀川には、数十年前の橋の架け替え工事などで4か所、河川内に旧橋の橋脚土台部分が残されたままになっていました。

この橋脚土台は、河川内の水の流れを阻害し、上流から流れてきたゴミや土も堆積、雑草が繁茂する箇所もあり、大雨時の危険性が指摘され、地元から早期の橋脚土台撤去の要望を頂いていた。

令和6年9月定例会の一般質問でこの問題を取り上げた結果、県では順次、橋脚土台の撤去を行い3か所の撤去は済みましたが、残り1か所は鉄道橋の下であることから慎重に工事方法などの調査・検討を進めていました。

この度、調査と検討を終え、12月2日に全ての撤去工事が完了しました。



残されていた橋脚土台を撤去し、水流がスムーズに。

江面地区 「県道さいたま栗橋線」 未舗装歩道の整備が完了

江面地区「県道さいたま栗橋線」の下り線、東北道インターチェンジ入口手前は、一部だけ未舗装、未整備で歩行者や自転車などの通行が不便になっていました。

このため、県は12月に舗装・整備し安心して通行できる歩道になりました。



新たに舗装、整備をした「県道さいたま栗橋線」

〇 「さいたまスーパリアーナ」工事請負契約締結
さいたま市内の「さいたまスーパリアーナ」は開館から25年経ち、老朽化もしてきたため、建物、音響設備、空調などの大規模改修工事を行うため施工業者と契約を締結しました。



「鷲宮催馬楽神楽」ユネスコの提案候補に
令和7年11月28日の無形文化遺産保護条約関係省庁連絡会議において、「神楽」が令和7年度のユネスコ無形文化遺産への提案候補になったと県より連絡がありました。申請候補のうちのひとつとして、国の重要無形民俗文化財に指定されている久喜市の「鷲宮催馬楽神楽」が提案されています。応援しています。



写真：市 HP から